

## 廃止措置準備期間中の主要作業 (表-2)

年 度	H.15				
<b>主要工程</b>	本格運転終了		(解体局)		
	<b>運 転</b>	<b>廃止措置準備 (約10年)</b>		<b>廃止措置</b> (約30年以内を目標) [廃止措置準備期間中に 具体化]	
<b>1. 諸準備</b>  (1) 使用済燃料の搬出  (2) 原子炉冷却系系統除染  (3) 重水系統からの重水回収・乾燥・搬出  (4) 廃棄物処理装置の設置 (廃樹脂減容・安定化処理装置、セメント固化装置等)  (5) 廃止措置計画の策定		原子炉からの燃料取出し		搬出完了	
	使用済燃料の搬出				
	検討・準備	除染			
	検討・準備	回収	残留重水の回収・重水系乾燥		
			回収重水の保管・搬出		
	設計検討	設置		運用	
	プラント調査、廃止措置技術の開発・改良・高度化			廃止措置計画策定	
<b>2. 技術開発の推進</b> (1) 固有技術の開発 イ. 重水トリチウム関連技術 重水精製装置 を用いた試験  重水系からの重水回収  重水系乾燥 (トリチウム除去)  重水系除染 (放射性腐食生成物)  ロ. 原子炉本体解体技術 (カランドリアタンク、圧力管等)  ハ. 解体計画の評価技術  (2) 既存技術の改良・高度化 イ. プラント調査技術  ロ. 除染技術 機器除染 建屋除染  ハ. 解体技術  ニ. 廃棄物処理処分技術  ホ. 再利用技術 金属廃棄物  コンクリート廃棄物  ヘ. 測定技術	準備	試験 (重水回収・乾燥等)		重水系解体廃棄物の調査	
	回収方法の検討	回収	残留重水 回収		
	乾燥方法の検討	装置設計製作	重水系乾燥		解体条件 設定 実績 評価
	技術調査	除染方法の調査・検討		除染装置製作	除 染 評 価
	解体方法の検討	解体モックアップ試験 (コールド)		システム高度化	実績評価
	システムエンジニアリング開発、安全評価				計画管理、データ収集
	中性子束の測定・解析				
	機器・建屋コンクリートの放射化、放射能汚染の分析・解析、物量の評価			追加調査	
	技術調査	除染方法の調査・検討		除染準備	実績評価
	技術調査	除染方法の調査・検討		実績評価	
	技術調査	解体方法の調査・検討		実績評価	
	処理・処分方法の調査・検討			装置の設計・設置	実績評価
	技術調査	処理方法の調査・検討		装置の設計・設置	実績評価
	技術調査	処理方法の調査・検討		装置の設計・設置 評価	
	技術調査	測定方法の調査・検討		測定評価	
<b>3. 技術成果の公開・技術協力</b>	成果の公開、国内外機関等との技術協力				